



きまりを見直そう

熊本市では子どもたちと一緒に学校の決まりを見直そうという取り組みが進められています。これは子どもたちの意見を表明する場の一つでもあります。力合西小学校の今年度の見直しは、11月末にアンケートを実施し生活委員会で話し合い、取りまとめた意見を再度学級で話し合ったうえで代表委員会、生活委員会の協議でまとめていきました。

- ・髪を長く伸ばす場合は、派手でなく目立たない色の、安全なゴムで結びましょう。
- ・公園や道路などの学校外の施設でも、周りの人のことを考えて行動しましょう。

上記のようにまとめりましたが、子どもたちは理由を添えて活発に意見を主張し合いました。自分たちの力でよりよい生活を送るための第一歩を踏み出しています。学校評議員会、PTA 運営委員会でもお知らせをしました。来年度も新たな視点が加わります。



そもそも校則には法的な強制力はありません。私は学校の決まりは、子どもたちが学校生活を送る上で迷わなくて済むようにするためのガイド的なものだと考えています。「学校には何時に行けばいいの?」「何を持って行けばいいの?」「どんな服で行くの?」そんな時に確認するものです。

決まりに書いてあるから守る、という考え方よりも決まりを守って行動しようという気持ちを育てる方が大事です。書いてあるから守るという考えは、書いて無ければ何をしてもいいと

いう考えにつながる場合があります。守って当たり前前のことは書いて無いのです。書いてあっても守らないというのは論外です。自己中心的な行動は周囲に迷惑をかけること、決まりに則った行動は自分も周りも気持ちよくなることを子どもたちには実感してほしいと思います。

最近、車での送迎が増えました。歩行での通学が困難な場合、許可を得て校区外から通学している場合などは学校に連絡して許可証をもらい給食室門から入ってもらうようにしています。しかし、車から降りてくる子どもたちのほとんどは歩行に困難があるようには見えません。停車している車を追い越す車、反対側から降りて走ってわたる子ども、いつ事故が起きてもおかしくない状態です。「今日は寒いから」「今日は雨だから」など例外をいくつも作ればそれはもはや例外ではありません。「いつてきます」を家の玄関で言うから、「ただいま」の時の家の安心感が増すのです。ご家庭でもきまりの見直しをお願いします。

ありがとうございました



今年も交通指導員の渡邊さんから図書を送りつけていただきました。寄贈式では図書委員長、副委員長に48冊の本を手渡されました。

今回は絵本の作者の方にメッセージを送るといった交流の機会もいただいています。たくさんの方のメッセージが送れるといいですね。

